

4・5月の休診日：毎週日曜・月曜、4月30日(火)5月1日(水)3日(金)4日(土)7日(火)

自身のからだを見直してみよう！

上原盛幸

新年度を迎え、ようやく暖かくなってきました。製糖期も終わり、ようやくいつもの生活に戻られる方も多いのではないのでしょうか。

4月は、ご自身の体を見直す良い機会になります。という事で、来月5月には年1回の久米島町住民健診が予定されています。過去の健診で検査値の異常を指摘されている方、実際通院されている方は、血糖値やコレステロール、痛風の原因となる尿酸値など、気になる値が悪くなっていないかチェックしてみましょう。病院受診歴のない方でも、病気になる前の「未病」の状態のうちに、病気を予防するという事も大事です。



ご自分の現在の状態を知る大事なチャンスですので、お気軽に参加して下さい。また、検査値で気になる事がございましたら、いつでも久米島病院へご相談ください。

『こども療育外来』はじまります！

小児科 渡邊 幸



4月から公立久米島病院で月1回の「こども療育外来」が始まります。これは東京都八王子市にある「島田療育センター」はちおうじ(以下、島はち)から「こども療育外来」として「作業(OT)」「運動(PT)」のリハビリスタッフが交代で月1回来島し、病院で1日療育外来を行うというものです。「療育」というのは発達障害や運動器障害などにより日常

ごあいさつ

平成31年3月31日付けで次の職員が退職致します。在職中は皆さまの多大なご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。また、4月から新しい医師が着任されますので、今後共にご支援賜りますようお願い申し上げます。

退職者

病院長 深谷 幸雄
医師 田村 剛三
医師 山城 清人



生活で困っている子どもたちの生活スキルを一緒に練習することです。

実は大都市でもかなりの待機期間を要したり、高い料金を払わなければいけなかったりと、十分な療育を受けるのはなかなか難しいです。ましてや、僻地ではそのような機会は本当に少なく、僻地における発達支援の大きな壁となつています。そんな中、久米島病院と島はちの協力、そして久米島町のバックアップを得て、今回「久米島で日本の最先端の療育を受ける」ことができることになりました。

2月に島はちの所長であ

る小沢浩先生による講演会「いのちの授業」が仲里庁舎で行われました。一人一人の奇跡的な「いのち」の誕生の物語を紹介し、ある面から見ると「障害」でも別の側面ではそれは「素晴らしい能力」かもしれないこと。人間は平等ではないけど「与えられた環境と能力の中で幸せを求める権利は皆平等にある」ということなどを愛情たっぷりに話していました。その中で「療育は家族に力強い安心を与えるものである」ことを強調していました。

こども療育外来の機会は限られていますが、勉強会などを通して「島の支援者

小児科外来についてのお知らせ

4月から水曜日の小児科外来が「午前休診/午後外来」となります。

	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	一般外来	休診	一般外来*	一般外来	一般外来
午後	一般外来	一般外来	休診/発達外来**	一般外来	一般外来

*毎週木曜日11:00～12:00を「乳幼児の予防接種外来」とします。BCGやロタリックスなど集団接種で行えないワクチン接種の際に、事前予約の上ご利用ください。

**「発達外来」は隔週の木曜日の午後です。予約が必要です。

を支え・力づける」ということも今回の事業の大きな目標です。久米島町&島はちでチーム一丸となつて、島の困っている子どもとそのご家族に、少しでも「安心」を与えることができるよう進めていきたいと思えます。皆様の温かい応援をどうぞよろしくお願いいたします。